

一般 菊川市のホームページについて

石井 祐太（市政の見える化室）



市のホームページはデジタル上の市役所ともいえるものであり、市民が菊川市の情報を収集する上で重要な役割を担っていると考え質問した。

【Q】ホームページの運用方針について、菊川市は、どのような利用目的を持つ市民や利用者を主なターゲットとして想定し、どのように利用してほしいと考えているのか伺う。

【A】市内・市外、年齢、性別、職業などを問わず、幅広く全ての人をターゲットとして、市政に関するさまざまな情報を掲載した利便性の高い運用を心がけている。

【Q】PCとスマートフォンで見るときにアクセスできる情報に違いがあるがスマホビューとPCビューの違いを意識されたことがあるのか伺う。

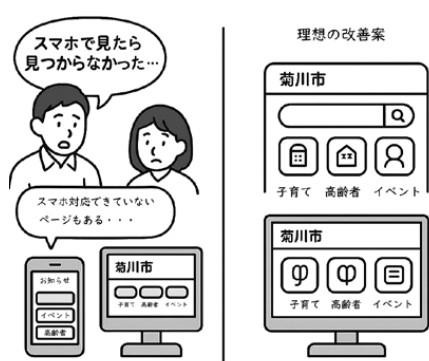
【A】認識している。できるところについては担当部署と相談の上、早急に改修をしていきたいと考えている。

【Q】アクセス解析とデータ活用について、どのようなデータを収集し、どのように活用しているのか伺う。

【A】ページビュー数やアクティブユーザー数を把握している。これらを情報発信推進委員会などで共有し、利便性の高いホームページ作成に活かしている。市ホームページは、平成21年度のリニューアル以降、15年余り運用している。デザイン面などにおいて改善の余地もあろうかと認識しているので、最新の技術動向を研究していく。

他に「地区センターの利用」について質問しました。

菊川市のホームページにおけるスマホ・PC閲覧格差問題



一般 菊川市財政の存続を問う

織部 光男（無所属）



私は2月定例会で、令和7年度当初予算反対討論をした。反対理由は、依存体質予算であること、増収見込みがないのになぜ過去最大予算であるのか。市債残高一般・企業会計合計で257億9千万円あることなど

である。私には無責任予算とは思えない。「国の借金9年連続で最大1323兆円」とあった。国民1人当たり1千万円以上になる。菊川市の資金不足の心配の中、堀之内体育館強靱化対策費で約50億円、掛川市・菊川市衛生施設組合（環境資源ギャラリー）で400億円以上これからかかる予定である。菊川市の長期財政計画に問題はないのか。このような予算で菊川財政は存続できるのか。

【Q】市税76億5千万円に対し予算額245億7千万円であり菊川市の財政は存続できるか。

【A】人口減少の抑制や企業誘致などで人口確保や企業の進出につなげ、市税収入を確保し、持続可能なまちづくりを進めていく。

【Q】現在、依存財源比率54・9%ですが、菊川市は目標数値を持っているか。

【A】国の施策により増減するため、目標数値は定めていない。

【Q】少子高齢化・多死社会で税収が増える税は何かがあるか。

【A】特に生産年齢人口の減少に伴う所得の減少により個人市民税への影響が考えられる。

【Q】市の借金257億9千万円あるが、上限は決めているか。

【A】市債残高の上限額は決めていないが、一般会計では元金償還額以上に借り入れないことを目標とし、市債残高を減らすことに努めている。

